

～ 第3回農山漁村&銀座ミツバチフォーラム報告 ～

農山漁村資源開発協会と銀座ミツバチプロジェクトでは、一刻でも早い被災地の復興を願い「日本再生」に向けて、3回シリーズでチャリティーフォーラムを開催しました。

その最終章は、「地域振興」のエキスパートであります藻谷浩介先生にご登壇頂きました。

45万部を突破した『デフレの正体』の著者が、農山漁村の偉大な可能性を論じました。

【日 程】平成 23 年 8 月 24 日

【講 師】藻谷浩介(もたに こうすけ)

(株)日本政策投資銀行 地域振興グループ 地域支援班 参事役

【会 場】銀座紙パルプ会館 第1会議室

【テーマ】ローカルな価値の創造が経済をも救う～ 戦後から震災後へ、変わる原理と明るい未来～

【挨拶】農山漁村資源開発協会 代表理事 頭山興助

【司 会】銀座ミツバチプロジェクト 理事長 高安和夫

【主 催】農山漁村資源開発協会

NPO 銀座ミツバチプロジェクト

【協 力】環境と CSR と「志」のビジネス情報誌「オルタナ」

< 講師プロフィール >

(株)日本政策投資銀行 地域振興グループ 地域支援班 参事役

NPO法人 コンパス地域経営支援ネットワーク理事長

1964年山口県生まれ、88年東京大学法学部卒、同年 日本開発銀行(現、日本政策投資銀行)に入行。92年コロンビア大学経営大学院留学、日本経済研究所出向など経ながら2000年頃より地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。2003年同行地域企画部参事役、07年より現職。

平成合併前の3200市町村の99.9%を訪れ、海外59ヶ国を概ね私費で訪問し、データと現場の実例を基にまちづくり問題を分析。

「デフレの正体」45万部突破！ダイヤモンド誌2010ベスト経済書3位、中央公論社2011新書大賞2位！！



講師 藻谷浩介

東日本大震災の被災地の写真画像を紹介しながら、現状を語り、本論が始まった。

大量生産販売の国際競争は不毛な値下げ合戦に収斂し、疲弊は地方のみならず首都圏をも覆ってしまったと。

そして、活路はローカルな価値の創造と価格転嫁、供給者の利得と消費者の幸福の両立にあると的確なデータを基に軽妙な語り口で解説。



司会 銀座ミツバチプロジェクト 理事長 高安和夫



挨拶 農山漁村資源開発協会 代表理事頭山興助



交流会では、茨城や福島食材と共に歓談





提供した福島県のじゃがいもには、放射能汚染がないと紹介し、被災地の農産物を大いに食べて応援しようと懇親の輪が広がった。